



カウンシル®
コンプリート
FG

”除草力“のカウンシル。
高葉齡ノビエも！難防除も！

コウキヤガラ

クログワイ

ノビエ

オモダカ



ノビエ、難防除多年生雑草を「一発処理」で枯らす除草力。鉄コーティング直播栽培にも適応。多角化・大規模化に貢献できる次世代の水稲用除草剤です。

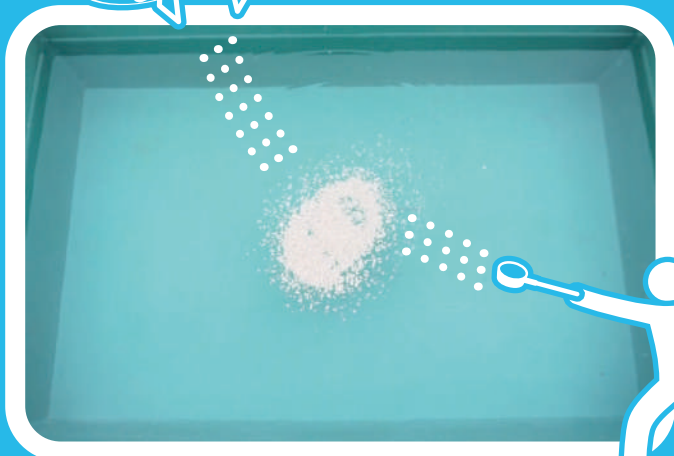


©カウンシルはバイエルグループの登録商標 第56411965号

※FG(Floating Granule)剤は、粒剤が水面を浮きながら自己拡散して除草効果を発揮する製剤のことで

FG が速やかに拡散！

ドローンや畦畔からの散布が可能



ドローンの場合、散布量が少なく、飛行時間も短いのでバッテリー交換や薬剤補充などを省力化

FGが速やかに拡散します。ドローンや畦畔からの散布が可能です。

特長

■ 2成分で高い除草効果

トリアファモンとテフリルトリオンの2種混合の初・中期一発処理除草剤で、幅広い草種に対して高い除草効果を示します。

■ ノビエへの優れた効果

高葉齢のノビエに対する枯殺力が高く、また、長期残効性を有します。

■ 問題雑草への高い効果

クログワイ、オモダカ、コウキヤガラに高い除草効果・塊茎形成抑制効果を示します。効果持続性が長く、通常の圃場条件では1回の散布で雑草を防除することができます。

■ 特殊雑草にも有効

アシカキ、キシウスズメノヒエ等の多年生イネ科雑草やクサネム、イボクサ等の特殊雑草にも有効です。

■ 水稲に対する安全性が高い

水稲に対して優れた選択性を有し、通常の圃場条件下で安心して使用できます。

■ 直播水稲に適した薬剤性能

直播水稲(鉄コーティング直播栽培含む)において、本剤は効果・安全性ともに優れ、稲1葉期からノビエ3葉期までの幅広い散布時期で余裕をもって使用できます。

適用雑草と使用方法

(2026年2月現在の登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 および マツバイ オモダカ ホタルイ ヒルムシロ ヘラオモダカ セリ ミズガヤツリ コウキヤガラ ウリカワ キシュウスズメノヒエ クログワイ	移植後5日～ノビエ 3.5葉期 ただし、 移植後30日まで	300g/ 10a	本剤 1回 テフリルトリオン 2回	湛水散布 または 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草 および マツバイ ウリカワ ホタルイ ヒルムシロ ミズガヤツリ セリ	稲1葉期～ノビエ 3葉期 ただし、 収穫90日前まで		トリアファモン 2回	

*印は本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

使用上の注意事項

■ 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。

■ 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3.5葉期までに、時期を失ないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイは3葉期まで、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは4葉期まで(直播水稲のミズガヤツリでは3葉期まで)、ウリカワは3葉期まで(直播水稲では2葉期まで)、クログワイは発生始期まで、オモダカは発生前から広線形葉2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、コウキヤガラは発生始から草丈25cmまで、キシウスズメノヒエは3葉期までが本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。

■ 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深5～6cm)で散布して下さい。極端な浅水や深水での使用はさけて下さい。

■ 無人航空機で散布する場合は、次の注意を守って下さい。

- ① 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
- ② 専用の粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
- ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
- ④ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布して下さい。
- ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。

■ 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行なって下さい。

■ 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行なって下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行なって下さい。

■ 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。

- ① 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
- ② 軟弱苗を移植した水田
- ③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田

■ 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。

■ 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるため使用をさけて下さい。

■ 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用をさけて下さい。

■ 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。

■ 薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎおよびさやえんどうを栽培しないで下さい。

■ 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意して下さい。

■ 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

ごくまれに水稲に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00、13:00～17:00
土日祝日および会社休日を除く

(F-3298 26.3.IS)

